

令和六年度 奈良金春会演能会

令和六年十月二十日（日）午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
（旧称 奈良県新公会堂）

能楽ホール

奈良市春日野町一〇一番地
電話（〇七四）二七二六三〇（代）



能井筒

仕舞

生 巻 松 熊

田 絹 虫 坂
クセ キリ キリ

吉川 恵 宥
酒井 賢 一
中田 能 光
湯本 哲 明

〆休憩 二十分〆

狂言 鬼瓦

仕舞

弓 八 幡
六 浦
小 督
キリ

シテ（大 名） 茂山 千五郎
アト（太郎 冠 者） 茂山 千之丞

能野守

シテ（前・野守の 神翁） 金春 嘉 織
ワキ（羽黒山の 山伏） 原 陸
アイル（里 者） 茂山 竜 正

井上 貴 覚
金春 憲 和
金春 飛 翔

笛 荒井 啓 三
小鼓 森木 建 作
大鼓 森山 泰 幸
太鼓 中田 一 葉

井 筒 (いづつ)

解 説 中 司 由起子

秋の日、旅の僧(ワキ)が荒れ果てた在原寺に立ち寄り、里女(前シテ)と出会う。女は在原業平と紀有常の娘の「筒井筒」の恋物語などを語り、自分こそ有常の娘であると明かし消え失せる。里の男(アイ)から話を聞いた僧の夢に、有常の娘の霊(後シテ)が生前の美しい姿で現れる。霊は業平の形見の衣装を身につけ、恋慕の舞を舞う(序ノ舞)。やがて夜が明け、僧の夢も覚める。

『伊勢物語』をもとにした世阿弥の作品。高安の女のもとに通う業平の身を案じた有常の娘の歌「風吹けば……」や、業平の求婚の歌「筒井筒……」の物語が語られます。舞台には薄の付いた井筒(井戸)の作り物が置かれ、霊が井筒をのぞきこむ場面は見どころの一つ。

野 守 (のもり)

諸国をめぐる山伏(ワキ)が大和国の春日の野を守る老人(前シテ)に会い、名所の池「野守の鏡」を教わる。本当の「野守の鏡」とは、昼は人、夜は鬼となって野を守る鬼神の持つ鏡である、老人は語り姿を消す。里の男(アイ)が「野守の鏡」について語り、勤行を勧める。夜になり、山伏が祈っていると鬼神(後シテ)が鏡を持って現れる。鬼神は天上界から地獄、全宇宙の隅々までを鏡に映して見せ、大地を踏み割って消え失せる。

前半では「はし鷹の野守の鏡得てしがな、思ひ思はずよそながら見ん」の和歌説話が語られます。「野守の鏡」の歌の話を静かに語る老人と、力強い動きを見せる鬼神は対照的ですが、どちらにも神秘的な雰囲気があります。世阿弥作。

令和七年度 奈良金春会演能会 予定日

四月二十日(日) 六月二十九日(日) 十月十九日(日)

令和七年度 奈良金春会連合 謡曲・仕舞会 予定日

七月二十七日(日)

奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七二六三〇(代)

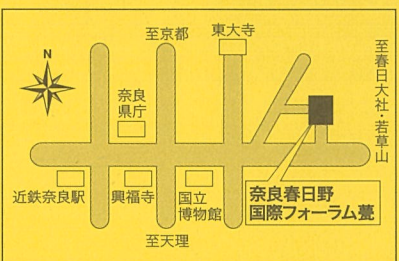
・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

四枚綴回数券
二〇、〇〇〇円
一般一回券
七、〇〇〇円
学生一回券
三、五〇〇円

◎鑑賞券は、奈良春日野
国際フォーラム薨でも
取り扱いいます。



主催 奈良金春会
後援 奈良市教育委員会
(公社)金春円満井会
お問合せ 電話
(〇七四二)三三一九七二〇 金春

◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は 現在一般の方の車の受け入れをしております。

車でお越しの方は 他所に駐車場をお求めいただくこととなります。

◎満席の場合など 当日会場では入場券を発売しない場合があります。又 入場制限する事もあります。

◎都合により、演者・曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●マスクの着用は、ご来場されたお客様の任意といたしますが、場内での会話はお控えください。

また、アルコール消毒については、今まで通りお願いいたします。

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、座席数に制限をかける場合があります。